

口腔腫瘍学演習

Seminar of Oral Oncology

キーワード

- ① 顎顔面病態診断治療学
- ② 口腔外科学
- ③ 歯科放射線学
- ④ 口腔病理学
- ⑤ 口腔腫瘍学

授業概要

悪性腫瘍は現在本邦における死因の一位を占め、その治療成績を向上することが不可欠であることから、様々な角度から基礎的、臨床的な研究が行われている。本演習では、実験腫瘍学から現在実際の臨床現場で行われている悪性腫瘍に対する治療までを含め、腫瘍学についてオムニバス方式で多様な角度から学修する。そして、口腔腫瘍学における俯瞰的な判断を行う素養を身につけ、各大学院生の研究活動における多角的な検証を行うことを目的として開講する。

授業科目の学修目標

悪性腫瘍の患者は増加傾向であり、研究対象としても非常に大きなテーマである。本演習では、実験腫瘍学の手法を用いて、口腔腫瘍に対する研究マインドを涵養するとともに、その診断、治療から管理に至るまでの包括的な知識・態度・技能を包括的に修得することを目標とする。

授業計画

- ① 病理学的実験腫瘍学基礎演習 2コマ 梶木恵一
実験腫瘍学の基礎について、病理学的観点から学修するとともに、培地の作成から細胞の取扱いなどを含め、生物学的実験に必要な基本的な実験手技を修得するための演習を実施する。
- ② 実践の実験腫瘍学基礎演習 5コマ 小澤重幸
実験腫瘍学の実践について、細胞培養のテクニック、実験動物の取扱いから実験動物作成のテクニック、実験プロトコルの作成などに必要な基本的知識を学修し、実験手技を修得するための演習を実施する。
- ③ 画像工学的実験腫瘍学基礎演習 5コマ 小林優
実験用小動物に対する各種画像解析手法について解説し、実験用小動物の硬組織、軟組織の解析に必要な解析法の選択や、それぞれの解析法の原理について解説する。また、サンプル実験等により、実際の解析手法を身に付けるための演習を実施する。
- ④ 温熱療法的実験腫瘍学基礎演習 5コマ 櫻井孝
悪性腫瘍に対する温熱療法に関する物理学的、生物学的基礎知識について解説するとともに、実験腫瘍学や臨床応用の具体的方法について解説する。また、サンプル実験等により、動物実験に対する加温を実施する上で必要な手法を身に付けるための演習を実施する。
- ⑤ 化学療法的実験腫瘍学基礎演習 5コマ 岩淵博史
悪性腫瘍に対する化学療法に関する生物学的、薬理学的基礎知識について解説するとともに、実験腫瘍学や臨床応用の具体的方法について解説する。また、サンプル実験等により、動物実験に対する化学療法を実施する上で必要な手法を身に付けるための演習を実施する。
- ⑥ 外科学的実験腫瘍学基礎演習 5コマ 鈴木健司
悪性腫瘍に対する外科療法や分子標的療法などに関する基礎知識について解説するとともに、実験腫瘍学や臨床応用の具体的方法について解説する。また、サンプル実験等により、動物実験に対する分子標的療法や病態評価を実施する上で必要な手法を身に付けるための演習を実施する。
- ⑦ 包括的実験腫瘍学応用演習 3コマ 櫻井孝
総合演習を行う。

教科書および参考書

参考書：HEAD AND NECK CANCER -A multidisciplinary approach-、LWW、Harrison著

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

演習の前には、実験プロトコルを指導教員に確認をし、理論を熟知して演習に臨むこと。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 実験腫瘍学におけるの病理学的理論を理解し、研究活動で実践することができる。
- ② 実験腫瘍学に関する適切な実験手技や研究倫理を実践できる。
- ③ 実験腫瘍学における画像工学的解析法の理論を理解し、研究活動で実践することができる。
- ④ 実験腫瘍学における温熱療法の理論を理解し、研究活動で実践することができる。
- ⑤ 実験腫瘍学における化学療法の理論を理解し、研究活動で実践することができる。
- ⑥ 実験腫瘍学における外科療法の理論を理解し、研究活動で実践することができる。
- ⑦ 実験腫瘍学に関する分野横断型の包括的な理論を理解し、研究活動で実践することができる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポート フォリオ	口頭試問	その他
30%	0%	35%	35%	0%	0%	0%

評価の要点

- ・試験は、授業計画で行った演習の知識の理解度を判定する。1回30%
- ・レポートは、授業計画の7項目について課題を提出する。5%×7回=35%
- ・成果発表は、授業計画の7項目について発表内容を判定する。5%×7回=35%

理想的な達成レベルの目安

口腔腫瘍学演習の理想的な達成レベルは80%以上とする。